

三条教区通信

第85号

発行日 2014年7月1日
発行者 三条教務所長 池守章
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

ほんとう すがた
本当の相になる

これが
ぶつ おし もくてき
仏の教えの目的である

あけがらす はや
暁鳥 敏

Realizing true self
is the goal of the Buddha's teaching.

Akegarasu Haya

三条教区災害対策委員会のお知らせ

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日本大震災救援金は、2014年6月30日現在、総額14,071,059円となりました。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使用状況は以下のとおりです。

- 2,000,000円 東京教区 2012年2月14日
- 10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日
- 1,170,237円 東日本大震災復興支援活動資金

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し上げます。

災害支援実行委員会のお知らせ

2014年8月17日から21日までの5日間、放射能汚染から子どもたちを守る一時保養事業として、「三条別院に泊まろう！！～夏休み 大自然でキャンプ&お寺宿泊体験～」を実施します。

小学3～中学3年生を対象に、三条別院での「お寺の生活」、勉強時間、海遊び、温泉、そして、青少年研修会部門による「児童夏の集い」での銀山平キャンプ、堀之内やな場での魚採りなどを体験し、夏休みを過ごしてもらいます。

教区の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



御遠忌実行委員会のお知らせ

三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

2015年5月19日から24日まで厳修

御遠忌法要まであと322日

ポスター第2弾発行

広報部会



このたび、書家の金澤翔子氏に筆耕頂き、鎚起銅器 玉川堂(燕市)が制作くださった鎚起銅器製「駒札」の写真を使用したポスターが完成しました。三条別院の参道には様々な時代の人と建物が表現され、あらゆる時代を超えて宗祖の教えに出遇っていく人々の歴史を表しています。御遠忌広報のため、本堂等にご掲示くださいますようお願いいたします。

三条教区教化センターのお知らせ

第10期教化センター研究生について

このたび、三条教区教化センター第10期生を募集(願書受付締め切りは2014年6月20日)いたしましたところ、組長推薦により10名の方から応募いただき、新たに第10期生として決定されました。

教化センターは、この度の教区御遠忌を機縁といたしまして、教化センター機能の充実を図るべく「教化センターの運営に関する諮問委員会」より答申(本号掲載)をいただき、教区教化委員会と緊密に連帯を保ちつつ、2014年度より運営委員会をもって活動を推進して参ります。

研 修 会 の ご 案 内

■ 全戦争犠牲者追弔法会

開催案内既送

- ◆日 時 2014年7月5日(土)13:30~16:00
- ◆場 所 三条別院仮本堂
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 第52回児童夏の集い

開催案内既送

- ◆日 時 2014年8月19日(火)~21日(木)
- ◆場 所 銀山平キャンプ場(魚沼市)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 声明基本講習会

開催案内同封

- ◆日 時 2014年8月25日(月)9:30~16:00
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆内 容 得度班・法務研鑽班・声明研鑽班に分け講習
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 靖国問題交流学习会

開催案内同封

- ◆日 時 2014年8月27日(水)~28日(木)
- ◆場 所 靖国神社、他
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

教 務 所 か ら の お 知 ら せ

◎ 退任のご挨拶

前教務所長・輪番 鷲尾 幸雄

三条教区の皆様方には、為法ご精進の日々をお過ごしのことと拝察いたします。この度、6月30日付をもって定年退職をいたしましたので、在職中に賜りましたご厚情に深謝申し上げ退任のご挨拶を申し上げます。

2011年1月、藤坂所長(輪番)の辞職に伴い、本山出版部から自教区であります三条教務所(三条別院)への転任を命ぜられました。以来、3年半、何とか職務を果たさせていただくことができました。これひとえに皆様方のお力添えの賜物と、心より感謝を申し上げます。

振り返りますと、着任が本山の宗祖 750 回御遠忌法要を目前にひかえての大切な時期であったにもかかわらず輪番の引き継ぎが出来ないという異常な事態が続き、さらには東日本大震災という未曾有の災害に見舞われる中での御遠忌法要と、それらの対応に追われたことを思い出します。

そのような厳しい状況にありながらも、親鸞聖人が顕かにされた本願念仏の教えを、我が身にいただき直し、後の人に伝えたいという皆様方の篤いところに支えられ、教区(別院)の宗祖御遠忌へ向けての歩み出しをさせていただくことができましたことに改めて厚く御礼を申し上げる次第でございます。

退職後は、真宗大谷派の一僧侶として、与えられたご縁のなかで、分を尽くさせていただきたいと存じますので、今後ともご厚誼のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、着任いたします池守 章教務所長・輪番のご挨拶は、次号掲載予定です。



◎ 三条教区教化センターの運営に関する諮問委員会答申

さきの教区御遠忌検討委員会(2012年度)答申を受け、「教化センターの機能充実」について、教務所長の諮問により設置された三条教区教化センターの運営に関する諮問委員会から提出されました答申について、以下のとおり、お知らせします。

この答申内容を受け、「真宗大谷派三条教区教化センター規定」(1997年7月30日施行)の一部を改正する案が本年7月開催される教区会及び教区門徒会に上程されます。

2014年3月31日

三条教務所長 鷲尾 幸雄 殿

真宗大谷派三条教区教化センターの運営に関する
諮問委員会 会長 風巻 和人

真宗大谷派三条教区教化センターの運営に関する諮問委員会 答申

諮問された真宗大谷派三条教区教化センター(以下、「センター」という)の機能充実について、以下のように答申いたします。

1 センターに関する総括

本諮問委員会では、センター発足当時から現在までを以下のように総括する。

1995年(平成7年)に発表された『教化センター構想企画書(案)』(教区報第178号掲載)によれば、1995年(平成7年)1月に阪神淡路大震災が発生し、同年3月にはオウム真理教信者による地下鉄サリン毒ガス事件が起きた。また、蓮如上人五百回御遠忌を3年後にひかえ、このような社会情勢が「命とはなにか?」という根源的問いを考える縁となった(取意)と時機を捉え、三条教区同朋会館(1989年[平成元年]落成)建設後における教化施設の具体的活用(ソフト面)の課題が教区にあり、このような時機に生まれた教化センターの機能として、次の事項が掲げられている。

- ①基礎的的教学及び学問の学習
- ②社会的な諸課題に関する情報の収集と伝達
- ③上記2に関するタイムリーな問題提起
- ④上記1、2、3を通しての人材養成
- ⑤諸資料・教材等の整備と発行

この当時のセンター構想は、各研修会部門をも内包した大規模なものであったが、実際のセンターは、組織や構想、経費的裏付け等が確立される前にスタートすることとなったため、発表された構想とは大きくかけ離れた形となり、センターと各研修会部門は、各々の別々の活動を続けていくことになった。

その後もセンターの運営については、教区レベルでの具体的な議論がなされないまま今日に至っており、事実上、設置当初から尽力されてきたセンター主幹に委ねられてきた。

現状のセンターにおいては、人的・財政的限界がある中、人の育成については、9期(18年間)に渡る継続的な取り組みがなされ、70余名の研究修了生が輩出され、その修了生たちは、教区教化委員会や様々な教化現場で活躍している。

2 会議の記録

本諮問委員会は、以下のとおり会議を行い、答申に至った。

- 第1回 2014年1月10日(金)
- 第2回 2014年1月30日(木)
- 第3回 2014年2月5日(水)
- 第4回 2014年2月17日(月)
- 第5回 2014年3月14日(金)
- 第6回 2014年3月24日(月)
- 第7回 2014年3月31日(月)

3 答申

(1)センターに願うべき方向

ア. 人の育成

1995年(平成7年)9月1日に発表された『教化センター構想企画書』当初から、継続的かつ確実に遂行されてきた「人の育成」を中心とすべきである。

イ. 社会との接点

時代、地域社会の課題に応える活動を模索していただきたい。

(2)センターの名称

名称については、①宗派で進められている「真宗教化センター」構想との混同を避ける、②実際の活動内容に即した、名称の検討が望まれる。

(3)組織の充実

ア. スタッフ

センターの活動を充実させるため、以下のとおり、人員について拡充を図られたい。

- ①主幹(1人) センターを代表し、センターの活動を掌理する。
- ②副主幹(若干人) 主幹を補佐し、主幹に事故あるときは、その職務を代行する。
- ③幹事(1人) センターの事務を処理する。
- ④研究員(若干人) 主幹の命を受けて、センターの活動を補佐する。
- ⑤研修生(若干人) 現行の「研究生」を「研修生」とあらため、現行のとおり、2年の任期とし、組長の推薦により募集する。
- ⑥囑託(若干人) 必要に応じて置く。

イ. 運営委員会の設置

①目的

センター活動の充実並びに教区教化委員会との連携のため、運営委員会を設置し、以下のとおり組織することを提案する。

②組織

- (ア) 教区教化委員長
 - (イ) 主幹
 - (ウ) 副主幹
 - (エ) 幹事
 - (オ) 企画委員(2人)
 - (カ) 教区会議長
 - (キ) 教区門徒会長

(ク) 教区教化委員長が推薦する者(若干人)

なお、特に(ク) 教区教化委員長が推薦する者については、女性を含むよう留意されたい。

③運営

運営委員会の業務は、センターの事業計画並びに予算の審議、事業報告並びに決算の審議、その他必要な事項とする。

なお、センターの活動方針については、主幹を中心にセンターの自立性を尊重する。

(4) 予算の確保

現在まで特別会計が設けられ、教区費経常部からの回付金によって運営されてきているが、教区教化委員会との連携を保つ運営を図ることから、教区教化費と同等に経常部において処理することとし、臨機応変な予算措置が取れるようにする。

(5) 教区教化委員会の各研修会部門との連携

教区教化委員会との相互連携を期す。

特に、より充実した教学研鑽のため、教学研究会部門との連携については、早期(2014年度を目処)に企画委員会を中心に、その具体的方途を示されたい。

(6) 今後のセンターの取り組むべき課題

センター活動の充実並びに教区教化活動の活性化のため、研究生(研修生)修了者を中心とする研究員を伴う体制の下、以下の課題についても取り組まれることが望まれる。

- ①研究紀要の作成
- ②公開閲覧を行っていくための資料整理
- ③地域社会への発信(リーフレットや掲示伝道資料作成、公開講座など)
- ④差別(いじめ)・カルト・自死問題等に対応しうる体制の模索

以上

◎ ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- 講師 6/1～7/12 太田浩史(富山県 大福寺)
7/13～8/23 平原晃宗(京都府 正蓮寺)
(変更する場合があります)

○放送局 BSN新潟放送

*新潟県全域をカバー

- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日午前5:00～5:10

○提供 吉運堂様

◎教区行事予定表

2014年		
7/1(火)	14:00	女性研修会・推進員研修会合同会議
	16:00	靖国・差別と真宗合同会議

7/2(水) 13:30	教区坊守会役員会
7/3(木) 15:00	声明講習会部門会議
7/4(金) 14:00	真宗学院指導会議
7/5(土) 13:00	全戦争犠牲者追弔法会 真宗学院
7/7(月) 14:00	研修部会
7/8(火) 14:00	大谷大学同窓会役員会
7/9(水) 14:00	(遠)親鸞聖人顕彰スタッフ会議 教区監査
7/10(木) 13:00 13:30 15:00	(遠)広報部会 女性研修会部門会議 連絡協議部会
7/11(金) 14:00 16:00 17:00	教区御依頼適正審議会 (遠)助音研修会 (遠)別院御修復現場視察(第16組) ほうおん!企画説明会(木揚場教会)
7/12(土)	真宗学院
7/14(月) 14:00	社会広報部会 (遠)広報部会
7/15(火) 14:00	青少年3部門全体会議
7/16(水) 14:00	(遠)実行委員会
7/18(金) 10:00 14:00	教区門徒会常任委員会 教区会参事会
7/19(土)	真宗学院
7/22(火) 13:00 14:30 17:00	教区会特別委員会 教区会決算委員会 如来会
7/23(水) 14:00	教区会予算委員会
7/24(木) 14:00	別院責任役員会 子ども会巡回(第20組金寶寺)
7/25(金) 13:30 19:00	教区会(通常会) 子ども会巡回(第11組願誓寺)
7/26(土) 13:00 14:00 14:00	(遠)宗祖御影巡回(第20組) 真宗学院 推進員養成講座(23組無爲信寺)
7/28(月)	教区門徒会(通常会)
7/29(火) 14:00	(遠)子ども御遠忌スタッフ会議
7/30(水) 13:30	推進員連絡協議会役員会
7/31(木) 14:00	(遠)整備部会
8/4(月) 14:00	院議会(通常会)
8/5(火) 13:30	～11日 真宗学院 前期教師修練 正副組長会
8/11(月)	～15日(金) 教務所事務休暇
8/17(日)	～21日(木) 子どもたち一時保養
8/18(月)	教務所事務再開
8/19(火)	～21日(木) 児童夏の集い
8/23(土) 14:00	～24日(日) 真宗学院一泊研修
8/25(月) 9:30	声明基本講習会
8/27(水) 14:00	大谷大学同窓会 ～28(木) 靖国問題交流学習会
8/29(木) 14:00	(遠)助音研修会
8/30(土) 14:00	真宗学院
8/31(月)	(遠)宗祖御影巡回(第19組)
9/6(土) 14:00	真宗学院
9/7(日) 13:00	(遠)宗祖御影巡回(第13組宮原善行寺)

9/12(金) 14:00	(遠)助音研修会
---------------	----------

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

見たか越後門徒の底力!

特別展「親鸞となむの大地—越後と佐渡の精神的風土—」
プレイベント「なむ街道を歩く25日間の旅」無事完了

「人類史上およそ宗教のない時代はなかった。にもかかわらず、新潟県の歴史について、フラッグシップたる博物館に、仏像の一体も、仏画の一枚もないのは、あまりにも情けないではないか。しかも、親鸞・日蓮が流罪となり、その二人がここから大きく羽ばたいていったにもかかわらず、その紹介もなく、良寛の手鞠でお茶を濁している現状に、われら門徒は、ただ手をこまねるしかないのか!! 750回忌というのに、これでは宗祖に合わず顔がない!」

そんな声を受けて始まった「親鸞となむの大地—越後と佐渡の精神的風土—」。おかげさまで6月8日、3万人の入場者をえて44日間にわたる開催を終えることができました。

また、プレイベントとして開催した「なむ街道を歩く25日間の旅」554.2kmも、北海道から沖縄まで全国各地から21名が完歩されました。デイリー隊で1日だけ歩いた人たちも加えれば約500名からの参加になります。幸い一人のケガもなく全員無事ゴールしました。

ともに実現が危ぶまれたイベントでしたが、不思議にも、ポイントポイントで様々な方々の御助言と御支援を賜り、教区や教団連合の後援もあつて盛大に完了できました。

関係各位、ご来場の皆様に、取り急ぎ紙面を借りてご報告申し上げますとともに、略儀ながら御礼申し上げます。



【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830

Eメール choganji@nifty.com

新潟親鸞学会デスク(ブログ):

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>